



おかたま通信 vol.11



丘珠縄文遺跡がサッポロさとらんど内にオープンしました！

丘珠縄文遺跡体験学習館と丘珠縄文遺跡展示室が平成30年5月27日にオープンしました。

丘珠縄文遺跡は、サッポロさとらんどの造成に先立ち、平成4、5年に実施した試掘調査で発見され、「札幌の低地部に広がった環境に適応した人々の暮らしの原形を表す遺跡」と評価されています。

今回オープンした施設は、埋蔵文化財に親しみながら、その知識と理解を深めていただける施設であり、「体験学習館」では、火おこしや土器の接合復元などが体験できます。また、さとらんどセンター2階の「展示室」では、丘珠縄文遺跡等の出土品が展示されています。

オープン式典では、丘珠獅子舞保存会の皆様が「丘珠獅子舞」を舞い、地元を代表して丘珠連合町内会顧問の北島英司様が祝辞を述べられ、テープカットを行いました。

ぜひ、丘珠縄文遺跡に足を運んで札幌の縄文を体感してみて下さい。

周辺地図



* 丘珠縄文遺跡展示室 *

丘珠縄文遺跡の出土品展示、企画展コーナー等

【休館日】

11月4日～4月28日までの月曜日（祝日の場合
その翌日）、年末年始

※休館日はさとらんど休園日と同じ

【利用方法】入場無料



* 丘珠縄文遺跡体験学習館 *

縄文体験活動（土器づくり、火おこし等）
や発掘調査の基礎整理を行う施設

【休館日】11月4日～4月28日

【利用方法】入場無料（一部体験活動のみ有料）

【お問い合わせ先】

札幌市市民文化局文化部文化財課
埋蔵文化財係（札幌市埋蔵文化財センター）
TEL：011-512-5430 FAX：011-512-5467
(平日 8時45分～17時15分)

シリーズ★クローズアップ丘珠No.10

このコーナでは、地域で活動する組織や団体について紹介しながら、丘珠地区の現状や課題について考えていきます。第10回目は、丘珠地区の交通安全のため活動されている【東区交通安全指導員会丘珠支部】にスポットをあててみました。

＊＊＊＊＊ 交通安全指導員とは ＊＊＊＊＊

交通安全指導員は、市民の交通マナーを向上させるため、日々、他の模範として行動しているほか、地域交通安全活動や小学生に対する登下校時の指導などを奉仕活動で行っています。

＊＊＊＊＊ 交通安全指導員の任務 ＊＊＊＊＊

指導員は交通違反者の取締りや監視を目的とするために置かれるのではなく、自ら交通ルールを遵守し他の模範となるよう努め、市民の交通マナーを向上させるよう啓発するとともに、地域における自主的な交通安全活動を推進するため、次の各号に掲げる任務を遂行するものとする。

- ① 地域交通安全活動の企画、参加、協力
- ② 月平均7日以上の小学生に対する登校又は下校指導
- ③ 担当小学校区における交通安全活動への参加
- ④ 歩行者、自転車利用者に対する安全通行指導



東区交通安全指導員会丘珠支部

なばた しろう
名畠 只良 支部長



に伺いました。



Q 交通安全指導員の仕事はどのようなものですか？

A 札幌市(札幌市交通安全運動推進委員会会長)より、任期2年間で委嘱されており、夏と冬の制服、帽子、指導棒が貸与されています。

主な仕事は、夏冬秋春の交通安全市民総ぐるみ運動期間や、小学校の入学式の時、夏休みや冬休み明けの3日間は小学校の通学路に立って見守りをしています。

PTAや先生方とも協力して実施していますし、なかには毎日活動している人もいます。

このほか、連合町内会の行事(運動会、文化祭、雪の祭典)や丘珠神社のお祭りの交通整理などを行っています。

Q よく、交通4団体といわれますが、どういう関係なのでしょうか？

A 「丘珠地区交通安全運動推進委員会」が中心となって、「東区交通安全指導員会丘珠支部」「札幌東交通安全協会丘珠支部」「丘珠地区交通安全母の会連絡協議会」の4団体が一緒に活動しています。これらの会の委員を重複して担当している人も多くいます。



Q 交通安全指導員になられて何年になりますか？また、交通安全指導員になられたきっかけは？

A 交通安全指導員になって、19年目です。

町内会の交通部の役員をやっていた時、人が足りないのでやってくれないかと誘われたのがきっかけです。

Q 交通安全指導員は現在5名ですが、負担になりませんか？

A 多い時には7人ほどいたのですが、徐々に減って今は5人です。3小学校を担当しているので、最低、1小学校に2人ずつ6人いれば良いのですが、なかなかやってくれる人がいません。

長時間啓発をする時など、人数が多ければ交代で出来ますが、5人だと難しいです。天気が良くて暑い日や、雨の日など、午前・午後で交代できれば助かります。

ただ、高齢者が多くなってきて、なり手がないのが現状です。



入学式 特別啓発活動

Q 活動の中で苦労したこと、大変だったことは？

A やはり外での指導なので、天候に左右されます。冬場は特に大変です。

また、黄色い交通安全旗を90～100本程度を管理していますが、春に全部取替えるのも結構大変です。

丘珠地区は風が強いため、痛むことも多く、年の途中で取替えなければならない所もあります。

「交通安全母の会」などが手伝ってくれ、助かっています。



航空管制塔前 街頭啓発

Q 逆にうれしかったこと、やりがいを感じたことは？

A 最近、子ども達が朝挨拶をしてくれるようになりました。

前は照れくさいのか声を出してくれる子が少なかったが、毎日こちらから声掛けをしていると、最近9割はちゃんと挨拶してくれるようにきました。

Q 活動の中で気になる事は？

A 夏は自転車のスピードが気になります。高校生などは、朝急いでいるのかスピードを出しています。

また、小学校の前は結構自動車が通りますし、結構速いスピードで通るのが気になります。親が自動車で送って来ることも多いですが、自動車を降りて学校側へ渡る時など気になります。せめて学校の付近はスピードダウンして欲しいです。

Q 丘珠地区で危険だなと思われる場所はありますか？

A 気になるのは、丘珠藤木川1号橋の信号機のない交差点です。

先日、交通量調査を行いましたが、高校生の通学時間帯に自動車の交通量が多いので、危険だと思われます。

Q 交通安全指導員として今後の目標は？

A 体の動く限り、子どもたちに交通安全の指導を続けたいです。

Q 最後に地域の皆様に一言？

A 丘珠地区は広く、車が無いと不便なところですが、幹線通や田舎道も多くのスピードが出ますので、注意していただきたいです。

出かけるときは、お互いに声を掛け合って事故が無いようにして下さい。



交通安全

まちセン掲示板



これから行事予定



たまねぎフェスタ 2018

東区で栽培されている「札幌黄」等、札幌の主要農産物である玉ねぎの歴史を知り学べるイベントです。会場では、丘珠地区女性部も札幌黄を使った料理を提供販売いたします。

この機会にぜひご賞味ください。

開催日時：9月22日（土）

23日（日・祝）

24日（振替休日）

会 場：サッポロさとらんど
(東区丘珠町 584)



赤い羽根共同募金のお願い

全国で赤い羽根共同募金運動が実施されます。集まった募金は地域の福祉活動に活用され人々の暮らしの充実に結びついています。

丘珠地区では昨年、街頭募金、戸別募金、法人募金を合わせて 897,036 円の募金となりました。

今年は9月22日(土)にサッポロさとらんど、9月30日(日)にトライアル伏古店、10月7日(日)にJAさっぽろ玉葱選果センターで街頭募金活動を予定しています。

皆様、今年度もご協力お願い致します。



札幌丘珠空港

丘珠空港は、HAC（北海道エアシステム）が運航する函館（1日6往復）、釧路（1日4往復）、利尻（1日1往復）、三沢（1日1往復）の4路線をはじめ、期間限定でFDA（株式ドリームエアライズ）の2路線、静岡（1日1往復）、松本（1日1往復）が運航されております。

定期便の他、陸上自衛隊丘珠駐屯地をはじめ、警察や道庁の防災ヘリコプターが常駐しているほか、写真撮影、報道取材、送電線の監視業務等、幅広い業務に利用されております。

定期便の運航状況



* * * * 新任のご挨拶 * * * * *

4月1日付けで、丘珠まちづくりセンター所長に着任いたしました中村です。どうぞよろしくお願ひいたします。私はこれまで、土地区画整理事業や道路整備などハード面での「まちづくり」を担当してきました。

地域の皆様と一緒につくる「まちづくり」の仕事は初めてですが、丘珠地区の皆様からの温かいご支援ご指導をいただき、また、皆様方の積極的に活動する姿を見て心強く感じているところです。

丘珠地区が、より安心で安全な住みやすいまちになりますよう、私も微力ではありますがお手伝いをさせていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

丘珠まちづくりセンター所長 中村 昌雪

東区 丘珠まちづくりセンター

〒007-0880 東区丘珠町183番地2

TEL *011-781-4283

FAX *011-784-8250

<http://www.city.sapporo.jp/higashi/okadama/index.html>

SAPP_RO

まちセンをご利用下さい



各種証明書（印鑑証明、住民票、戸籍証明）の取次をしております。

※ 交付は翌開所日の午後になります。